

ユネスコスクール加盟希望校

【新】活動内容 確認シート

評価者所属	
評価者氏名	
記入日	

学校名：(例) ○○県▼▼市立×××小学校

番号	評価の観点	確認資料例	資料の有無	確認欄
1. 基礎				
1-1 (必須)	ユネスコスクールの使命や目的を理解した上で、ユネスコが特に重視している 3 つの分野（1.地球市民教育、平和と非暴力の文化、2.持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、3.異文化学習、文化多様性及び文化遺産の理解・尊重）に沿った活動を実践しているか。	- 学校の教育・経営目標等 - 活動実績を示す資料（学校行事、授業研究、特別活動等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-2	ユネスコスクールの活動を通じて育てたい資質や能力を明確にし、課題解決型の学習過程を重視した教育課程を編成したか。	教育課程	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-3	教科横断的な指導計画を立てるなど指導内容を適切に定め、さらに、指導方法の工夫改善を行っているか。	指導計画	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-4	学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境が整っているか。	学校経営方針（体制・環境の整備を示す資料）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1-5	今後のユネスコスクールとしての活動の質の向上のため、学校評価において、活動の点検を行ったか。	学校評価書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 展開				
2-1	SDGs やGAP など国際的な枠組みを意識して活動を行うよう努めているか。	活動実績を示す資料（上記 1-1 と同じだが、SDGs 等と当該活動の関係が分かるもの）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2-2	ESD の推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果の積極的な発信に努めているか。	広報資料、行事の成果報告書等（発信方法・内容が分かる資料）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2-3	地域の多様なステークホルダー（自治体、大学、社会教育施設、NPO、企業等）との連携などを通じて、持続可能な社会の構築のための開かれたネットワークを築くよう努めているか。	協力実績（協力先やプログラム等）が分かる資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2-4	交流相手の良さを認め合い、学び合うため、国内外の学校とのネットワークの構築に努めているか。	交流実績（交流先やプログラム等）が分かる資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2-5	ユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUivNet）をはじめとした高等教育機関の支		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	援や協力を得ながら、活動の充実に努めているか。			
--	-------------------------	--	--	--

合計点数	点
------	---

① チャレンジ期間終了 可 / 否

【判断基準】

基礎、展開の別を問わず、

- 6点以上：チャレンジ期間終了
- 6点未満：チャレンジ期間要継続

② 不十分な点についての今後の改善点【大学記入欄】

【参考 1】ユネスコが特に重視している3つの分野

1. Global citizenship and culture of peace and non-violence（地球市民教育、平和と非暴力の文化）
2. Sustainable development and sustainable life style,（持続可能な開発と持続可能なライフスタイル）
3. Intercultural learning and the appreciation of cultural diversity and heritage（異文化学習、文化多様性及び文化遺産の理解・尊重）

（参考）

「UNESCO Associated Schools Network -Guide for National Coordinators-」

<https://unESDoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000261994>

【参考 2】ユネスコスクールガイドライン（平成 24 年 文部科学省）（名称一部変更）

●ユネスコスクールとして大切なこと

- 国内外のユネスコスクール相互間のネットワークを介して、互いに交流相手の良さを認め合い、学び合うこと。
- 地域の社会教育機関、NPO 等との連携などを通じて、開かれたネットワークを築くよう努めること。
- 校内外における各種研修の充実・活用を図るなど、ユネスコスクールの活動を通じて広く学校外にも働きかけ、我々人類社会が持続的に発展するよう心がけること。
- 学校経営方針等にユネスコスクールの活動に取り組むことを明確に示し、学校全体で組織的かつ継続的にユネスコスクールの活動に取り組みやすくすること。
- ユネスコスクールの活動を自らの学校評価の項目に盛り込み、活動の質の向上に努力すること。

- 必要に応じ、ASPUnivNet 加盟大学をはじめとする高等教育機関の支援や協力を得ながら、ユネスコスクールの活動の充実に努めること。

●ESD 推進拠点として大切なこと

- 持続可能な開発のための教育（ESD）を通じて育てたい資質や能力を明確にし、自分で、あるいは協働して、問題を見出し解決を図っていく学習の過程を重視した教育課程を編成するよう努めること。
- 総合的な学習の時間を中心とした教科横断的な指導計画を立てるなど、指導内容を適切に定め、さらに、指導方法の工夫改善に努めること。
- 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通じて、持続可能な開発のための教育（ESD）の理念の普及に努めること。

【参考3】SDGs 及び GAP について

●SDGs（持続可能な開発目標）とは

- 2015 年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択された 2030 年までの国際開発目標。先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030 年を期限とする包括的な 17 の目標を設定。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むものとなっている。

（参考）国際連合広報センターHP（SDGs について）

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

- 2016 年 9 月のユネスコ執行委員会では、ユネスコが主導機関となっているゴール4のほか、科学技術や文化等に関する計9つのゴールにおいても、ユネスコが重要な役割を果たすことが示された。

（参考）ユネスコが重要な役割を果たすとしているゴール

ゴール4(教育) / ゴール5(ジェンダー平等) / ゴール6(水) / ゴール9(イノベーション) / ゴール11(持続可能な都市) / ゴール13(気候変動) / ゴール14(海洋資源) / ゴール15(生物多様性) / ゴール16(平和)

●「ESDに関するグローバルアクションプログラム（GAP）」について

- 「国連ESDの10年（DESD）」の後継プログラムとして、ESDに関する世界会議（2014 年日本）で正式発表。2015 年～2019 年は、世界各国で GAP に基づき ESD の推進が行われている。

（日本語訳：文部科学省HP）<http://www.mext.go.jp/unesco/004/1345280.htm>

- GAP では、ESD の一層の進展を図るため、以下の五つの優先行動分野に焦点を当てている。
 - ① 政策的支援（例：国や自治体の政策との連携）
 - ② 機関包括型アプローチ（例：ホールスクールアプローチを意識した学校・学級運営）
 - ③ 教育者の育成（例：校内外の職員研修の企画、実施、参加）
 - ④ コース（例：若者との連携や、若手教員のコースとしての活動）
 - ⑤ 地域コミュニティ（例：地域の様々なステークホルダーとの連携）